

意見公募手続実施結果

- 1 題名 水戸市こども計画（素案）
- 2 案の公表日 令和6年12月9日（意見提出期限：令和7年1月7日）
- 3 市民等からの意見数

計 6 人 17 件

(1) 郵 送	0 人	0 件
(2) F A X	0 人	0 件
(3) メ ー ル	3 人	10 件
(4) 直接提出	2 人	6 件
(5) 電子申請・届 出サービス	1 人	1 件

- 4 提出意見及び提出意見を考慮した結果

意見等の概要	市の考え方（対応）
妊婦はつわり中の孤独さがある。LINEでのやりとりや電話による窓口はあるが、助産師や医療従事者がいて安心できる、つわり中の妊婦が集まる場所がほしい。意見交換会や医療従事者がいる中での集いがあると、ありがたく、心強いと思う。	本市におきましては、妊婦の孤独感や不安の軽減を図るため、つわりの持続期間や症状、重症度が個々に異なることなどを踏まえ、「すまいるママみと」において、保健師や助産師による個別相談を実施しております。 なお、各産婦人科においては、助産師等を配置し、安心して参加いただける妊婦向けの教室を開催しております。
不妊治療から妊娠中までの助成は多少あると思うが、乳児保育時期の助成が手薄であると感じる。 妊婦健康診査については全額補助を希望する。 育休の取得を増やすことや助産師を派遣し、寄り添うことを目標として掲げるのであれば、育休取得時期の収入にもっとスポ	妊婦健康診査に係る費用につきましては、厚生労働省の基準に基づく検査項目について、妊娠中に最大で14回分（多胎妊娠の場合は、最大で19回分）を助成しているところです。助成額につきましては、妊婦健康診査に係る医療機関における費用を踏まえながら、引き上げを検討してまいります。 育児休業取得時における収入につきまして

ットを当ててほしい。 特に紙おむつや粉ミルクなど必ず購入するものについては、市が割引のクーポンや商品券を発行してほしい。 今の時代、結婚＝出産ではないので、まずはこどもを生みたい、引っ越ししてでも水戸で出産・子育てがしたいと感じられる自治体になってほしい。	は、国のこども未来戦略「加速化プラン」に位置付けられた育児休業給付率の引き上げなどが令和7年4月1日から、実施されることとなっております。本市におきましては、事業者に対し、国の支援策等について、しっかりと理解が得られるよう、情報発信を行ってまいります。 また、妊婦の方、出生後のこどもを養育する方に対しまして、紙おむつや粉ミルク等の購入に活用することができる「出産応援ギフト」、「子育て応援ギフト」として、それぞれ5万円相当の電子クーポンを支給しております。 引き続き、子育て世帯に優しく、安心してこどもを生み育てることができ、若い世代に選ばれるまちを目指し、各種施策を推進してまいります。
「まちづくり」は「人づくり」の考えに立ち、水戸のよさや課題を知り、水戸の未来を活性化することもたちの育成を進めるため、以下の取組を行う。 I－1－4「多様な体験活動の促進」の事業「読書活動の推進」について、偉人伝を読むことは、間接的な人生体験となり、将来の自分を考える参考となることから、図書館の充実として、「偉人伝コーナー」の見直し、充実を行う。 I－2－2「水戸スタイルの教育の推進」の事業「チャレンジプランの推進」について、秋田県の「あきたのそこちから」を参考に、水戸の教育スタイル（指導方法）を確立する。 I－2－2「水戸スタイルの教育の推進」の事業「キャリアプランの推進」について、小・中・高校生が各地域の行事や産物、人物などについて自慢する「わたしたちの町の自慢大会」、各地域の課題を調べ、解決	本市におきましては、こどもが生涯にわたり読書に親しむ習慣を形成するため、図書館において、こどもが読みやすい図書を収集し、活用を図っております。御意見いただきました偉人伝につきましては、各図書館の児童室の伝記コーナーに設置するとともに、収集に努めているところです。あわせて、郷土コーナーには、郷土の優れた先人たちを紹介する図書「水戸の先人たち」を設置しております。引き続き、図書の充実に努めるとともに、こどもが手に取りやすいよう図書の展示を行ってまいります。 また、本市におきましては、確かな学びと学習意欲を高める教育としてチャレンジプランを掲げているところです。学力向上サポーターによる個に応じた学習指導や教育データを活用したきめ細かな学習指導・支援を行うとともに、中核市として研修を実施し、水戸スタイルの教育の推進に資する教員の指導力の向上を図っております。今

策を探る「わたしたちの町の課題」を実施する。それぞれの事業については、こどもたちが地域の自慢のPR活動をしたり、市に課題解決策を提案するなど、こどもたちが主体となった取組も合わせて行う。 また、広報みとにこれらのこどもたちの提案等を掲載し、地域への啓発を行う。	後も事業を推進する中で、他自治体の事例を幅広く参考とするなど、より良い指導方法を検討してまいります。 キャリアプランにつきましては、その一環として郷土教育を掲げ、本市独自のカリキュラムである「水戸まごころタイム」において、水戸のことを知り、先人の生き方に学ぶ水戸教学の授業を実施しております。 その成果を生かし、水戸の梅まつりにおいて、中学生が偕楽園や弘道館へ観光客の案内をするおもてなしボランティア活動等を実施しております。 また、学校外の実践場として、親子で水戸郷土かるたに書かれている場所を巡り、実物を見て学ぶイベント等の取組を推進しております。さらに、夏休みの自由研究においては、郷土に関する研究が多く出品されるなど、こどもたちによる主体的な学びが行われております。いただいた御意見を含め、こどもたちが主体となるより良い取組について検討してまいります。
さまざまな子育て支援制度等があるが、インターネットで探すのは困難である。水戸市のホームページでは情報や答えを見つけることができない。市、県、国の制度を知っていれば、諦めずに夢や希望に向かって進むことができたと感じる。親が社会で上手にこなせることがこどもの人生に大きく影響すると思う。 仕事と子育てを両立していくには、社会のこどもに対する理解が必要である。 地域や職場など社会において、こどもやこどもを育てている人に対する理解が不十分である。 中学校の部活とそのOBや趣味が合う人が集うことのできる地域活動、こども、大人の区別のないイベントなど、こども、大	子育てに関する情報につきましては、Ⅱ－１－４ 具体的施策「子育てに関する情報発信の充実」を位置付け、SNSや子育て支援アプリ「みとっこ子育て応援アプリ」など、各種媒体を活用し、各施策の対象者に向けて、広く発信してまいります。 また、こどもや子育て世帯に対する理解の促進や地域活動等につきましては、基本方針Ⅱ「まち全体でこどもを育む環境づくり」を位置付け、子育てと仕事を両立できる環境づくりを推進するほか、多世代交流の場となる「わんぱく・みと」や地域団体による市民センター子育て広場の運営の充実を図るなど、地域の方にも御協力をいただきながら、親と子が気軽に集い、地域と交流できる場をつくってまいります。

人等の枠がなく、ハードルが低い、こども、大人を巻き込むことのできる地域活動，社会活動を期待する。	
計画の財源について示されたい。	毎年度，当年度に実施する各種施策の予算額を資料として取りまとめ，市ホームページにおいて公表いたします。 また，本計画に位置付けた投資的事業については，水戸市第7次総合計画－みと魁・Next プラン－に基づき，毎年策定する3か年実施計画において，実施時期，事業費，財源をお示ししてまいります。
計画における納税者にとっての経済的利益額を示されたい。	経済的利益額については，具体的な金額までは算出しておりませんが，本計画は，結婚，妊娠・出産，子育てなどの各ライフステージにおける経済的負担の軽減をはじめ，全てのこども・若者，子育て世帯，事業者や市民の方を対象とする各種施策を位置付けております。こども・子育て支援施策を総合的に推進する計画であり，将来的にも，労働力や消費などの経済的効果が見込まれ，まちの活力を維持し，持続的なまちの発展に資するものです。
計画における納税者にとっての経済的負担額を示されたい。	経済的負担額については，具体的な金額までは算出しておりませんが，毎年度，当年度に実施する各種施策の予算額を資料として取りまとめ，市ホームページにおいて公表いたします。 また，本計画に位置付けた投資的事業については，水戸市第7次総合計画－みと魁・Next プラン－に基づき，毎年策定する3か年実施計画において，実施時期，事業費，財源をお示ししてまいります。

PDCA サイクルの CHECK（評価）について、その内容を納税者や議会に報告しないのはなぜか。	本計画は、毎年度、前年度の事業実施状況等について、市議会議員を構成員に含む水戸市社会福祉審議会児童福祉専門分科会に諮り、事業評価を行ってまいります。また、同分科会の資料につきましては、市ホームページにおいて公表いたします。
PDCA サイクルの CHECK（評価）について、事業進歩の把握は毎年行い、公表するのか。	本計画は、毎年度、前年度の事業実施状況等について、市議会議員を構成員に含む水戸市社会福祉審議会児童福祉専門分科会に諮り、事業評価を行ってまいります。また、同分科会の資料につきましては、市ホームページにおいて公表いたします。
PDCA サイクルの CHECK（評価）について、全ての事務事業評価を公表すること。	本計画は、毎年度、前年度の事業実施状況等について、市議会議員を構成員に含む水戸市社会福祉審議会児童福祉専門分科会に諮り、事業評価を行ってまいります。また、同分科会の資料につきましては、市ホームページにおいて公表いたします。
給付や補助金より市民税や目的税の減税をすること。名古屋市では市民税減税条例があり減税ができています。	本計画は、こども・子育て支援施策を総合的に推進するための計画であり、支援を必要とする方に早期に支援を届けるため各種補助施策を位置付けております。 なお、市民税等は、こども・子育て支援施策にとどまらず、福祉、医療、インフラ整備など、市民が必要とするさまざまな公共サービスの提供に充てられる地方自治体の主要な財源であることから、減税については慎重な判断が必要であります。
計画における予算規模を示されたい。	毎年度、当年度に実施する各種施策の予算額を資料として取りまとめ、市ホームページにおいて公表いたします。 また、本計画に位置付けた投資的事業については、水戸市第7次総合計画－みと魁・Next プラン－に基づき、毎年策定する3か

	年実施計画において、実施時期、事業費、財源をお示ししてまいります。
特別支援教育の対象とはならない、いわゆる「気になる子」について、対策が講じられないままとなっている。 「気になる子」は少数派だが、増加傾向にある。社会的な認識を得るため、計画に位置付けられたい。	基本方針Ⅳ基本施策4「配慮が必要なこども・若者への支援の充実」において、具体的施策「発達に不安のあるこどもへの支援」を位置付け、こども発達支援センター「すくすく・みと」における発達相談・支援とともに、発達支援教室、言語指導教室の充実を図ってまいります。 幼稚園、認定こども園、保育所等においても、発達に不安のあるこどもたちが適切な支援を受けられるよう、巡回訪問指導の充実を図るなど、支援体制の充実に努めてまいります。
計画推進の組織図として、「複雑・多岐である本計画の作成部署」、「今後の計画の取りまとめ役」、「市長の関わり方」を明記されたい。	本計画につきましては、こども政策課が計画の策定担当課であります。市長を委員長とする子ども・子育て推進本部において、計画を決定するとともに、庁内横断的に施策の推進、評価、改善等を行ってまいります。御意見いただきました作成部署等につきましては、計画の策定体制等において、それぞれ記載してまいります。
子育て支援相談員、子育て支援アドバイザー、特別支援教育支援員等の選出、育成、資質向上研修をどのように進めていくのか明記されたい。	子育て支援相談員等の選出や育成、資質向上研修につきましては、各事業において、国が定める実施要綱等に基づき、実施してまいります。
幼児教育の重要性は明らかとなっている。教育学や教育経済学にも目を向けて、行政に反映されたい。	幼児教育につきましては、令和6年10月に文部科学省から通知のあった「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会最終報告」において、その重要性が示されたところであります。 本計画につきましても、Ⅰ－2－1 具体的施策「質の高い幼児教育・保育の推進」を位置付け、「水戸市アプローチ・スタートカ

	リキュラム」をはじめとした取組を推進しているところであります。御意見のありました教育学など、さまざまな観点を取り入れながら、幼児教育・保育の更なる充実に努めてまいります。
計画は、生まれたこどもへの対応だけでなく、親になる人を育てる発想も大切である。行政と教育保育専門家とこども・親、事業者（幼稚園・保育園・学校等）のつながりが必要である。	本市におきましては、出産や育児に関する教室を開催するとともに、家庭の教育力の向上に向けた取組を進めるなど、こどもを育む親に対する支援を推進しております。また、本計画の目指す姿である『水戸の未来をリードする「こどもたち」を育むまち』を実現することは、将来、親となり、こどもを育む人を育てることにつながるものであります。 行政だけでなく、こども、子育て当事者、幼稚園等の関係機関と連携しながら、各種施策を推進してまいります。

問合せ先 こども部こども政策課こども政策係
 担当 徳田，森
 電話 232－9176 内線 2754